

有限会社きたもっく 福嶋 淳平さん
地域資源活用事業部部長

今年の7月に落成した、あさまのぶんぶんファクトリー。有限会社きたもっく地域資源活用事業部部長の福嶋淳平さんにお話を伺いました。

淳平さんは、昭和55年生まれ。東京の大学で経済学を専攻した後、キャンプ場に特化したシステムエンジニアとして、日本各地のキャンプ場のシステムをコンサルティングしてきました。

現在は、広大な自然林である広葉樹を中心に有効活用し、地域素材の6次産業化を目指しています。原木をそれぞれ最適な形に加工、住宅の施工のみならず、住空間を併せて提案し、家具や薪ストーブ等の薪火暮らしの良さを推進し「寒冷地の豊かな暮らしを」事業提案しています。

今、一番伝えたいことを伺うと、「山との豊かな関係を現代でもう一度結びたい。山から35km圏内の方々と持続可能な地域資源活用を目指していきたい。」と、力強く答えて下さいました。

2021年1月には農水省「6次産業化アワード」を林業の6次産業化で受賞しました。地域の資源を活用し、地域に根付いた循環システムを目指す先駆けとして、日々試行錯誤しながら、常に新しい知識を学び続け形にしています。

群馬県6次産業化チャレンジ支援事業にて1位を獲得した「百蜜(ももみつ)のお酒」は、養蜂事業の取り組みです。地元の豊かさをぜひ味わってみて下さい。

▶福嶋淳平さん。

▼事務所の入口には薪ストーブが展示されています。



NPO法人 群馬県自然保護連盟 中澤 和則氏
副理事長

清流中に繁茂するクロカワゴケ

小流は浅間山麓の湧水を集めて谷を流れ、大小の転石を避けて蛇行し所々小さな滝となっている。

どの転石も黄緑色のふかふかしたコケで覆われているが、このコケはタニゴケというコケ植物である。小流の流れる谷は湿り気があり、転石上だけでなく樹幹や枝、倒木の上にもそれぞれ異なるコケが育っている。

透き通った冷たい流水の中に目を向けるとバイカモの他に濃い緑色の植物が揺れている。この濃い緑色植物がクロカワゴケというコケ植物である。濃い緑色なので水中では黒っぽく見えることからこの和名が付けられた。生長すると長さが30cmを超えることもある。このコケにとっては水質が命、生活排水が流入すればたちまちソウ類が繁茂し負けてしまう。浅間山麓にも実際そういう場所がある。

クロカワゴケの学名はFontinalis antipyreticaで、antipyreticaは耐火を意味し、北欧ではクロカワゴケを暖炉と壁の間の耐火材として利用したという。国内では北海道、本州のごく限られた場所のみ生育し、環境省絶滅危惧種Ⅱ類のリストに入っている。群馬県内では浅間山麓で見つかったが、今年みなかみ町でも確認された。浅間山麓のクロカワゴケが生育する環境は規模も大きくたいへん貴重である。

▶美しい東泉沢の清流

▼清流の中で息を絶滅危惧種のクロカワゴケ



あさまびと

A S A M A - B I T O

2021 秋号

Vol.18



地域の成り立ちから、地球の成り立ちを知る

SDGs × ASAMA

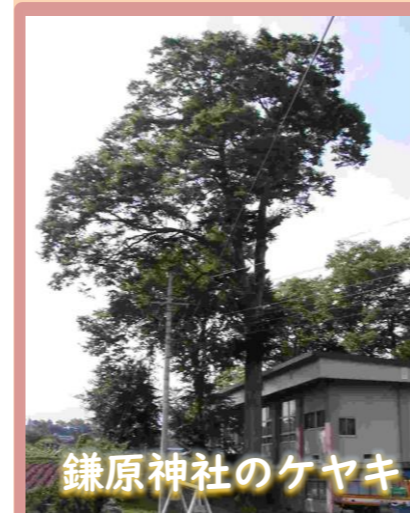
特集：樹木を観察してみよう



鳴尾の逆さスギ

逆さスギは、嬭恋村大字門貝鳴尾の熊野神社にそびえる巨木で、樹齢900年以上といわれています。弘法大師（空海）がこの地を訪れ、杖を立てたら根が生えて逆さに育ったという伝説があります。垂れ下がる枝や露出している根に、長い時を生き抜いてきた強さを感じます。樹勢は極めて旺盛で、昭和31年（1956年）群馬県指定天然記念物に指定されています。樹の太さは県の中で最上位に近い目通り周750cm、樹高36mといわれています。

ケヤキは、鎌原神社に大きくそびえ立ち、枝下は8mあり、樹の上部は2本に分かれています。全体に樹勢は旺盛です。鎌原神社には、このケヤキの木を含めて天明3年の生き残りの木が5本あります。



鎌原神社のケヤキ

ジオパークからののお知らせ



◀7/1（木）
鬼押出し園70周年記念日に当ジオパークのブース出展でパンフレット、グッズ配布や鉱物観察会を行いました。



▲7/2（金）～4（日）まで
総合インフォメーションセンターにて嬭恋高原山野草愛好会主催のウチョウラン展を開催しました。



▲7月8日（木）浅間山火山砂防事業施設見学会に、ジオパークガイドの会より21名が参加し、国土交通省の方や現場関係者の方から貴重なお話を伺えました。



◀7/10（土）～8/15（日）まで
絵画展示会を総合インフォメーションセンターにて行いました。素敵な作品を沢山の皆さんに見ていただき、年々来場者が増えています。

発行：浅間山ジオパーク推進協議会

Mt. Asama Geopark Promotion Council
制作担当：広報・観光委員会

〒377-1524 群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原494-45
TEL/FAX: 0279-82-5566
URL: www.mtasama.com
E-mail: asama-geo@ebony.plala.or.jp
Facebook: www.facebook.com/asamageopark

ガイドの受付しています

「浅間山北麓ジオパークガイドの会」の認定ガイドによる案内の受付をしております。ご希望の方は、左記、推進協議会事務局までお申し込みください。
[料金] *ガイド1名あたりの値段
平地: 半日6,000円 1日12,000円 (参加者11名以上はガイド2名)
軽登山: 半日10,000円 1日15,000円 (参加者8名以上ガイド2名)
登山: 1日25,000円 (参加者8名以上ガイド2名)

編集後記

文字数を少なく読みやすいよう改善しています。写真も大きくして、なるべく多くの方が見やすい記事を目指しています。今後ともあさまびとをどうぞ、よろしくおねがいします。

群馬県は全土の約3分の2が森林だよ。うち46%が国有林で、更にその54%が保安林に指定されているんだ。保安林の約75%が水源を保ち、約22%が土砂の流失防備の役割を果たしているんだよ。(資料:群馬県森林林業統計書)

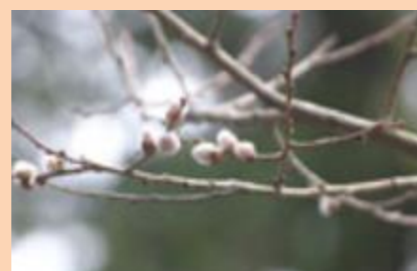
浅間山北麓にはハツ場あがつま湖もあって、その大事な役割を果たしているから、森林を大切にしないとね。



森林を作っている樹木の種類がいっぱいあって見分けるのが難しいね。見分けるには、樹皮・葉っぱ・花や実を見ると良いらしいよ。その例を紹介するね！



ヤシャブシ:浅間山の麓に多く見られる荒廃した土地に生育し、葉にとげとげがあり、葉脈が左右不ぞろいだよ。雄花と雌花が付いて雌花が熟すと、小さな松ぼっくりみたいな実がつくよ。



ヤマナラシ:葉っぱの柄が長く、風が吹くと葉っぱが擦れ合ってサラサラと良い音がするから、この名がついたんだ。



&



シラカバ:白い樹皮にハの字のような模様があり、葉っぱの葉脈は約7本だよ。



&

ダケカンバ:やや赤っぽい樹皮は薄く剥がれやすく、葉っぱの葉脈は約11本だよ。

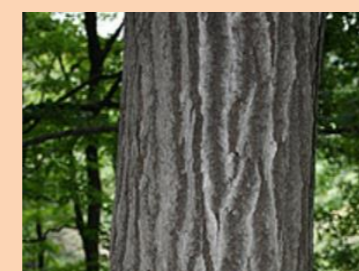


カラマツ:松の中で唯一の落葉樹なんだ。秋になると黄色に色づいて綺麗だよ。



&

アカマツ:成長すると樹皮が赤くなり、2本ずつ針のような葉がつくよ。3本と5本の葉がつく松もあるよ。



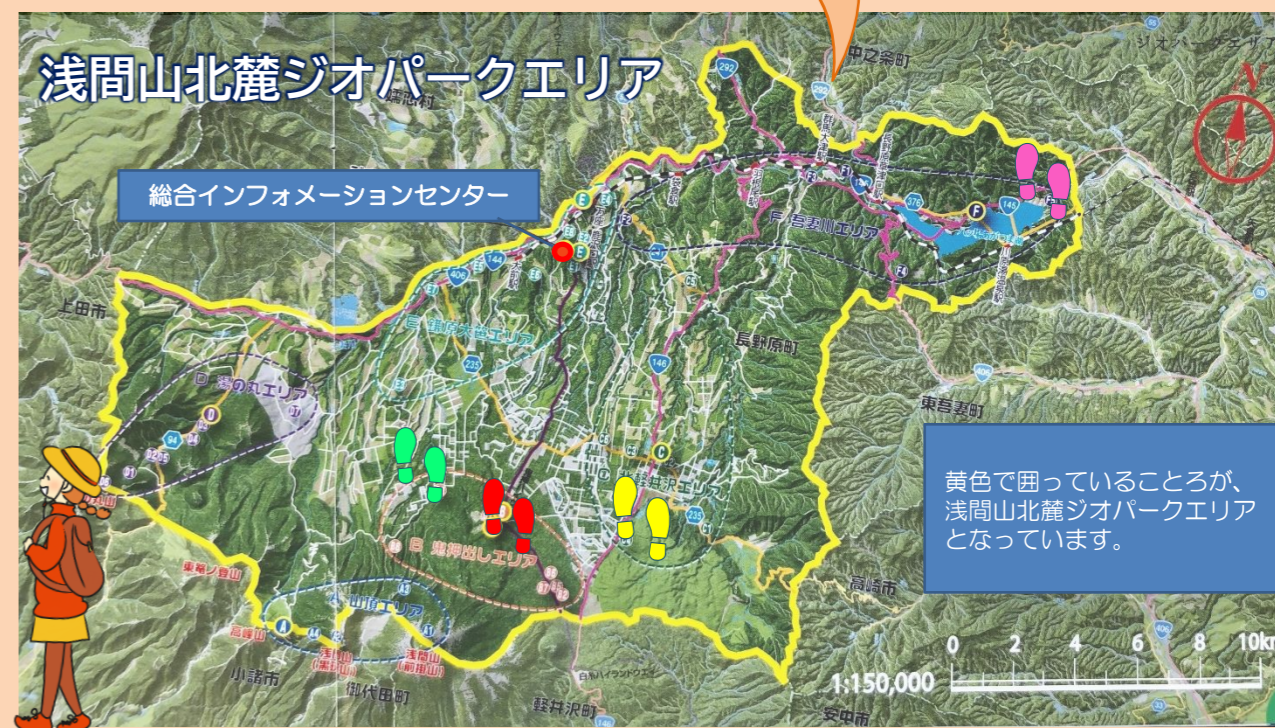
ミズナラ:水気が多いからこの名が付いて樽や船の材料に使われるよ。葉柄が殆どなく、ドングリになるよ。

コナラ:里山に多いドングリの木で、かつては薪炭材として使われ、葉には1~1.5cmの葉柄があるよ。

👣 樹木を観察できる遊歩道を紹介します！ぜひ歩いてみてね。



ひとつでも見分けられたら嬉しいね。



黄色で囲っているところが、浅間山北麓ジオパークエリアとなっています。

上記の各パンフレット等は、浅間山北麓ジオパークの総合インフォメーションセンターをはじめ、各エリア施設等で配布しています。ぜひ、足をお運びください。